



冷却水処理用  
酸化型スライムコントロール剤

# オルブレイド J777・J555

工場やビル空調等の冷却水系では、近年、補給水を節約した高濃縮運転が求められる場合が増えているため、配管や熱交換器等の設備に腐食やスケール・スライム付着等の障害が発生しやすく、設備の運転に支障を来すという問題が多くなっております。特にスライムや藻に起因する障害については、従来のスライムコントロール剤では効果が不十分であり防止できない場合が多くなってきております。

オルブレイドJ777・J555は、従来の有機系成分に代わる非塩素系の酸化剤成分を主成分としたスライムコントロール剤であり、冷却水に添加することによって効果が高い次亜ハロゲン酸を生成します。本製品は、防食分散剤(オルブレイドAシリーズ)と併せて使用することにより、負荷が上昇するトップシーズンにおいても、冷凍機等の省エネ運転や冷却塔の美観を維持することが可能になり、良好な冷却水処理を実現します。

## 特長

### 高い殺菌・殺藻効果、優れた即効性

無機酸化型薬剤であり、従来の有機系殺菌剤に比べ、殺菌効果が高く、優れた即効性を有します。藻類やレジオネラ属菌に対しても高い処理効果を示し、特に殺藻効果に優れております。

### 次亜塩素酸塩よりも優れた安定性、幅広いpHでの効果

次亜塩素酸塩よりも有効成分の安定性が高いため、薬剤タンクや処理水中での無駄な失活が少なく、安定した処理が可能です。また本製品はアルカリ領域(pH8～9程度)でも殺菌活性物質が高く保持され、次亜塩素酸塩より優れた殺菌効果を維持します。

### 次亜塩素酸塩よりも低い金属腐食性

鉄及び銅系材質に対する金属腐食性が次亜塩素酸塩よりも低いため、専用の防食分散剤「**オルブレイドAシリーズ**」と併用することにより、金属材質を傷めることなく、高いスライムコントロール効果を得ることができます。管理方法については次頁の使用法3)をご確認ください。

### 環境負荷の低い成分で構成

亜鉛、ヒドラジン等のPRT法該当物質、及びリン成分を含有していません。また有機物も非含有であるため、本製品によって処理水のTOCを上昇させることはありません。

## 物性

品番	タイプ	外観	比重 (25 )	pH (1%、25 )	凍結点 ( )	TOC (gC/kg)
J777	無機系酸化型スライムコントロール剤 (標準タイプ)	黄色液体	1.40	11.9	< -5	0
J555	無機系酸化型スライムコントロール剤 (低スライム負荷用タイプ)	黄色液体	1.11	12.1	< -5	0

(値は代表値です。製品規格値ではありません。)

## 使用方法

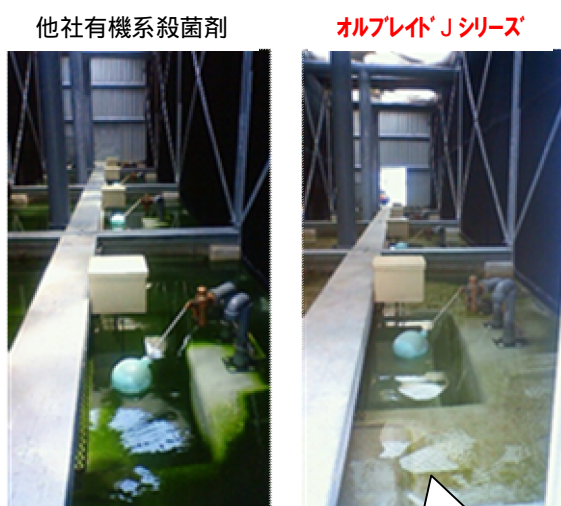
- 1) 必ず原液のまま使用して下さい。他の薬品との混合及び希釈は避けて下さい。
- 2) 薬注は、冷却塔下部水槽に行くことを推奨します。
- 3) 本製品は市販の残留塩素測定器を用いて、有効成分を残留塩素に換算して管理することができます。循環水中の残留塩素(全塩素)を測定し、全塩素として、0.1～0.3 mg Cl<sub>2</sub>/L を維持するように注入して下さい。  
標準的な注入濃度は以下の通りです。

- ・常用注入濃度； 補給水量に対し J777: 20～50 (g/m<sup>3</sup>)  
J555: 100～200 (g/m<sup>3</sup>)
- ・初期投入濃度； 保有水量に対して J777: 50～100 (g/m<sup>3</sup>)  
J555: 150～300 (g/m<sup>3</sup>)

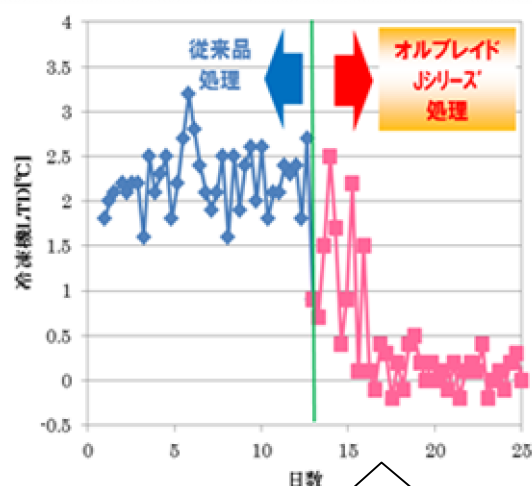
くわしくは、別紙の PT70001 をご参照ください。

**荷姿** 10kg 入：内装：ポリエチレン、外装：段ボール

## 効果例



短時間で藻類が激減！



殺菌・殺藻効果により LTD 値が適正に！  
効率回復！省エネを実現！

## 取扱い上の注意

- ・取扱いおよび安全情報の詳細は「製品安全データシート」をご参照下さい。
- ・本製品群は刺激性、腐食性がありますので必ず保護具を着用し換気の良い場所で作業して下さい。
- ・皮膚に付着した場合、炎症や水疱を生じる恐れがあります。付着時は汚染した衣服を脱ぎ、多量の流水で、石鹼を用いて触れた部分を洗い流して下さい。皮膚に炎症を生じた場合には医師の手当てを受けて下さい。
- ・眼に入った場合は直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗眼し、眼科医の治療を受けて下さい。
- ・換気のよい冷暗所に保管し、開封後は早めにご使用下さい。
- ・有効成分の安定性を維持するため、薬液タンク・ポンプ・ホース等の薬注設備には遮光対策を施してください。
- ・製品の希釈使用は、有効成分の安定性低下を招くため避けて下さい。
- ・薬液タンクや薬注ポンプ等の接液部には次亜塩素酸用のものを使用し、金属類は避けて下さい。
- ・酸類、還元性物質、有機物質等の混入は、有毒ガスの発生及び発熱などを引き起こす可能性があるため、絶対に避けて下さい。

本カタログ記載製品は、場合によっては輸出令による経済産業省の輸出許可が必要になりますので、輸出する場合は必ず当社または販売店にお問い合わせください。

**オルガノ株式会社**

オルガノホームページ  
<http://www.organo.co.jp>

[機能商品事業部]

〒136-8631 東京都江東区新砂 1 丁目 2 番 8 号

TEL03-5635-5214 FAX03-3699-7244

親切とサービスをお届けする販売店